



2015年9月17日

各位

会社名 田辺三菱製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 三津家 正之
コード番号 4508 東証第一部
問合せ先 広報部長 御船 祥史
(大阪:TEL:06-6205-5211)
(東京:TEL:03-6748-7664)

**脂質異常症治療剤 (CETP 阻害剤)「TA-8995」に関する、
日本およびアジアの一部を除く全世界における特許・ノウハウの譲渡について**

当社が創出した脂質異常症治療剤 (CETP 阻害剤)「TA-8995」の導出先である Dezima Pharma B.V.(本社:オランダ、CEO:ロブ・デ・リー、以下 デジマ社)が、Amgen, Inc.(本社:米国カリフォルニア州、CEO:ロバート・ブラッドウェイ、以下 アムジェン社)の買収提案に応じ、9月16日(米国太平洋時間)、アムジェン社およびデジマ社が買収契約の締結を発表しました。

本買収を受け、当社はアムジェン社およびデジマ社との間で、新たに「TA-8995」に関する特許・ノウハウの譲渡契約ならびに将来契約を締結しましたのでお知らせします。

本契約に伴い、当社は日本およびアジアの一部を除く全世界における「TA-8995」の特許・ノウハウをアムジェン社に譲渡しますが、当社は本剤に関する、日本を含むアジアの一部における独占権利を留保しています。

アムジェン社およびデジマ社のプレスリリースによると、買収額は契約一時金 300 百万米ドルのほか、開発及び販売の進捗に応じたマイルストーンとして最大で総額 1,250 百万米ドルとなります。上市后、一定の売上高に到達した場合、アムジェン社はデジマ社に一桁台前半のロイヤリティを支払います。当社はデジマ社よりこれらの買収額の一部をその都度受け取るほか、ロイヤリティの一部を受け取ります。

TA-8995 は、当社が創製した CETP 阻害薬で、2012 年にデジマ社に導出し、デジマ社が脂質異常症の患者さんを対象に欧州で実施したフェーズ 2b 試験の結果、1日1回の経口投与により、単剤及びスタチンとの併用でベースライン*と比較して 45～48%の強い LDL-C 低下作用が確認されました。その良好な試験結果は、権威ある英医学誌「Lancet」にも掲載されています。

当社が受け取る契約一時金は下期に計上する予定ですが、業績への影響につきましては、現在精査中であり、改めてお知らせします。

*ベースライン:治療開始前の値

以上